

東急建設がバイオディーゼル燃料(B100)を発電機に使用 アクティオのバイオディーゼル燃料専用発電機が正式採用

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)が独自に改良したバイオディーゼル燃料専用発電機が、東急建設株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:寺田光宏、以下東急建設)の東京都内の土木施工現場の発電機として、正式に採用されました。

東急建設が目指す、建設現場でのCO₂排出量削減、一層の脱炭素社会の実現のため、アクティオは、今後も協力していきます。

バイオディーゼル燃料(以下、B100燃料※¹)は日本建設業連合会が施工段階におけるCO₂削減方策として、軽油代替燃料の利用拡大に向けて発行した「建設業における軽油代替燃料利用ガイドライン」に記載されている環境配慮型の燃料で、廃食用油を原料として製造されており、カーボンニュートラル※²でCO₂排出量が約100%削減できます。今回、東急建設が使用するB100燃料は三和エナジー株式会社から調達するものになります。

B100燃料は従来、建設機械(建設重機、発電機)での利用は想定されておらず、メーカーの保証範囲外となっているため、これまで利用検証は行われてきましたが、まだまだ浸透していないのが現状です。

このような状況の中、アクティオでは、品質が担保されたB100燃料を使用し、発電機にて燃料燃焼実験を2年間実施した結果、2022年8月に発電機本体に問題が発生しなかったことを確認しました。

今回、この実験結果を踏まえ、東急建設は、バイオディーゼル燃料専用発電機を使用することとし、建設現場へB100燃料の導入を順次拡大していく予定です。



【発電容量80kVAでのB100燃料使用開始】

アクティオは「レンサルティング」のノウハウを活かし、脱炭素社会の実現に貢献する製品やサービスを提供していきます。

※1 全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会「協議会強制規格(7項目)」を満たす燃料。

※2 カーボンニュートラルとは、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量と植林などによる吸収量が等しく均衡している状態を意味し、例えば、生物が成長過程で光合成により大気中から吸収したCO₂であり、燃焼しても大気中のCO₂は増加しないという概念。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械

を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 パワーシステム部
TEL:03-6666-2205

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、五十嵐
TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp